



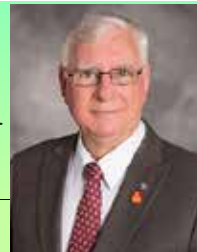
事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：唐澤敏治 副会長：田中洋 幹事：市川満貞



ロータリー：
変化をもたらす

2017-2018 国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
 ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-2018 RI会長
 イアン H.S.ライズリー
 オーストラリア
 (ビクトリア州)



第1443回 友好桜例会 平成30年4月10日(火)

■ 友好桜例会 12:00~ 分水RC寄贈の友好桜の花見 (於：伊那中央病院庭)



■ 通常例会 12:30~ 例会場にて

■ 点 鐘 12:30



■ ソング 真実を求めて 井上修ソングリーダー

■ 会長談話 田中洋副会長



今日は唐澤会長の代わりにを務めさせていただきます。

本日は分水RCとの友好桜例会です。先程中央病院の友好桜を見学して来ました。平成22年の4月9日に当時中央病院の院長の小川会員のご努力で、分水RCから送られた2本のソメイヨシノを病院の庭に友好桜として植樹させていただきました。その後、増築工事などがあって現在の救急棟の入口に移植されました。私どものタカトウコヒガンザクラは平成28年11月9日、3度目の正直とばかり祈りを込めて分水RCに贈り、分水公民館の庭に植樹され今年も綺麗な花を咲かせたとの便りをいただきました。

分水といえば、長野県に犀川、千曲川として源を発し、新潟県に入って日本一の信濃川となって越後平野をうるおしていますが、有史以来長野県と新潟県の水を集めた信濃川は分水町あたりで大氾濫を繰り返す暴れ川で、何とかこの水を鎮めたいと信濃川の分水路を作り、日本海へ流すように江戸時代から明治、大正とかけ、大正11年に通水しました。その10kmにわたる堤防には翌年大正12年よりソメイヨシノの植樹をはじめ、現在では3000本の桜並木となり、高遠城址公園のタカトウコヒガンと

共に日本桜名所100に選ばれております。

このように縁深き分水RCとの友好交流は今年で丁度10年になります。

これからも友好の心、友情の心を育てて参りたいと念願しております。

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤敏治 今日唐澤会長の代りを務めさせていただきます。分水の友好桜を見て来ました。ちょうど10周年になります。これからも楽しい友好交流ができれば良いと思います。
- ◆市川満貞 今朝、大相撲伊那巡業の関係者の送迎をしました。三役以上の力士や親方たち、行司や呼び出しなどの方々。朝の5:30~10:00までに約30台で、一番最後の出勤は伊那プリンスから白鵬でした。
- ◆井上修 松本の地区協議会に出席させて頂きました。青少年奉仕委員を拝命致しました。皆様のご指導をお願い致します。宴会が海老屋さんでなくて、お酒がすすみませんでした。
- ◆原一馬 昨夜の伊那商工会議所の会員交流観桜パーティーには、伊那中央RCの会員も多く出席され盛会にて開催出来ました。来年も宜しく願います。
- ◆千野康幸 昨年度は全く出席できず、もうお忘れかもしれませんが、ようやく出席できるようになって来ました。皆様から温かく支えて頂いたおかげです。出来の悪い社会保険労務士ですが、改めて宜しく願います。

■ 幹事報告 市川満貞幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 出席報告 会員数45名 出席免除会員6名 長欠会員2名 本日出席者27名 事前メイク4名 出席率83.78% 前回出席率 修正なし

■ 地区研修・協議会の報告

①会長部会 唐澤稔 会長エレクト



4月8日、松本大学に於いて地区研修・協議会に伊那中央RCから、田中次期ガバナー補佐・地区委員・会長・幹事・会計・各委員長の13名が出席、参加して参りました。駒ヶ根RCの執行委員の進行の元、最初に第1回本会議がスタートされ伊藤雅基ガバナーエレクトより、2018年度~2019年度の地区方針・今後の取組についての説明がありました。前回「会長エレクト研修セミナー（PETS）」で報告した内容でしたが、特にダブルかと思いますが感じた部分を述べさせていただきます。来年度の国際ロータリーのバリー・ラシン会長から出されたRIテーマは「BE THE INSPIRATION」（インスピレーションになろう）です。インスピレーションはインスパイア（感動させる、奮い立たせる）からくる言葉です。ロータリアンが積極的にロータリー活動を行うためにはクラブ、地区においてそれぞれに戦略計画を作成し、それを推進していくことが重要なことです。次期クラブ会長部会においては、今後のクラブ運営と活動について話し合いが行われましたが、5大奉仕（クラブ・職業・社会・国際・青少年）別の活動予定、ロータリーデーに充てる活動はどれか、会員増強の取組、公共イメージ向上の取組、RI事業（地区委員会への）メンバーの推薦等、話し合いました。

②幹事・会計部会 市川満貞 次期会計



私と平澤次期幹事の二人で幹事・会計部会に参加しました。研修リーダーはパストガバナーの都筑文男氏が務められました。研修の内容は、ロータリーの歴史、理念、あるいはビジョンといった観念的概念的な話が多く、またスクリーンの内容と配布された資料とが別のもので少し解りづらい部分がありました。幹事や会計に関する説明はほとんどありませんでした。従いまして事務局の武井さんから頂いた資料で自習しようと思います。

③会員増強部会

小椋文成 次期会員増強・プログラム副委員長



第2600地区の2018・2019年度の目標は「各グループにおける会員純増10名」及び「各クラブにおける会員純増1名以上の達成を具体的に設定するようです。また、グループ内における情報共有と連帯感を高めるために、ガバナー補佐を中心として、グループ内で会員増強部会などを開催していくそうです。会員数の現状としては2000-2001年度に58クラブ2929名だった会員数ですが2018年3月現在は55クラブ1987名と約2／3にまで減少しているということで第2600地区としても、2,000人を目標として会員の増強を推進していくそうです。また、長野の116名を除くと1クラブあたりの会員数の平均値は33名程度でやはりクラブを運営していくには非常に厳しい状況下にあるということが分かりました。第2600地区の特徴として、40歳未満のメンバーが少ないことがあげられるそうです。40代に目を向けて会員増強をしていく必要があります。また、今後は「ロータリーは職業人の集まり」という認識にこだわらず退職者にもアプローチをしていくことが必要だということでした。また、現在職業分類はあまり関係なく、会費についてもクラブ単位で柔軟に対応してほしいということでした。

④公共イメージ向上部会

宮下健 次期公共イメージ向上委員長



次年度、公共イメージ向上委員会の委員長として、地区研修・協議会に参加させて頂きました。

午前十時から「全体会議」として次年度地区ガバナー、駒ヶ根ロータリークラブの伊藤ガバナーより方針をお聞きしました。次年度地区テーマが「Find the Value」(価値を見出そう)と云う事であります。ロータリーとは世間一般から見て認知はされているが、イメージが伴っていないと仰っていました。その点では、入会間も無い私の考えと共通する物がございました。しかし、ロータリーの価値として、「異業種の交流の場」と云う言葉を全面的に出して会員増強に繋げて欲しいとも仰っていました。そもそも私は、異業種交流を積極的に取組んで来た結果、ロータリーとの出逢いがあったと思っています。ロータリーの価値とはあくまで「社会奉仕」「職業奉仕」であると同時に、奉仕活動を通じ、一人でも多くの若手に「この地域で会社を経営している以上、自分も地域社会に奉仕・貢献したい・しなければならない。」そう思わせる事が、ロータリーとしての価値であると感じています。

午後からは「分科会」が開催されました。ディスカッション形式でランダムに発言の場が設けられていて、入会歴が浅い私が、RIとかRLIと言った言葉を理解するのに少々時間を要したのは言うまでもございません。

また、初端の最初に指名されまして、不覚にも何を言ったのか記憶にございません。

テーマは三つありました。

- ① 自クラブの広報活動について
- ② 「ロータリーの友」の活用について
- ③ 今後の広報活動について と成っていましたが、研修に備えて事前に配布された資料を読んでない事がまず悔やまれました。

他のクラブで公共イメージを向上させる為に、ホームページでのコンテンツの充実化や、フェイスブック等SNSでの情報発信等を行っているクラブがありました。私からは「どういった団体、職種、また年齢をターゲットにして情報を発信させるか考えなければならない」と発言させて頂いたかと思えます。

この辺りから落ち着きを取り戻して参りました。

参考にしたいと思った意見は、「ロータリーの友」の活用法で市役所や図書館また病院等での待合室に置かせて頂いてロータリーを知って頂いたらどうか？との意見です。図書館には当クラブでも配布している様です。

全体を通して、「成功されたおじさまが集うクラブ」と云うイメージを「奉仕を通して仲間が楽しんでいるクラブ」にする為にはどうすべきか？を真剣に考えられた良い機会でありました。有難うございました。

⑤職業奉仕部会（次回例会にて報告）

⑦青少年奉仕部会 井上修 次期青少年奉仕委員長



1. RI会長からのメッセージ 標語・インスピレーションになろう
私達が今日直面する課題に勇気と希望そして創造性を持って立ち向かう意欲を組織全体から引き出す存在になろう。
2. 本年度の役員一覧
3. インターアクトのロータリー会長特別賞獲得の呼びかけ。
4. 第2600地区 伊藤ガバナーの方針
標語・Find the Value（価値を見出そう）
5. インターアクトクラブの現況

◇分科会 地区委員会事業計画

桑澤委員長より

- 1；青少年奉仕委員会は3年を継続期間として欲しい。
一年目＝観察 二年目＝活動 三年目＝活動・後継者選択
- 2；RI会長のメッセージを受けて、生徒やローターアクトメンバーを導いて欲しい。
- 3；特に強調したいのはインターアクト、ローターアクトの例会を実施させる事と例会の出席、合宿への参加をお願いしたい。
- 4；交換留学生との交流。メール、Line、FACEBOOK、Instaguramを駆使した個人的な繋がりを作って欲しい。
費用の負担 地区より一ヶ月10,000円、ホストファミリーに一日1,000円の補助あり。
- 5；学校間の温度差があるので顧問教師との接触を頻繁にやって欲しい。
インターアクト（12歳から18歳 中学生でもなれる）
ローターアクト（18歳以上～30歳まで） 年齢の上限を上げる必要ありとか。
- 6；青少年交換委員会 予定表（案）
- 7；伊藤年度の青少年交換事業について
- 8；交換留学生の実態
唐澤景南さん 伊那西高校 2月7日～4月2日 仏
バーディアン・マルチダさん（16歳）仏 ノルマンディーより
7月15日～8月29日迄滞在 通学費用は伊那中央RCで負担 最寄空港の送迎 滞在期間中の観光案内
- 9；合宿参加費用 参加者負担3分の1 他はロータリーと地区

⑧ロータリー財団部会（次回例会にて報告）

⑨米山記念奨学部会（次回例会にて報告）

■ 点 鐘

13：30

次回例会

4月17日（火） 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

- ・地区研修・協議会報告の続き
- ・例会終了後：理事会